

令和 2 年 度 事 業 報 告

事業概要

当協会は、手足の不自由な子どもたちの豊かな生活を実現するため、公益目的事業として肢体不自由児の支援事業と肢体不自由児理解促進事業を行った。

支援事業としては、自立活動支援事業、地域活動支援事業、器具貸与事業により肢体不自由児の自立と社会参加を促す支援を行った。肢体不自由児理解促進事業では募金事業、ボランティア育成事業、交流事業、調査及び情報提供事業により、障がいのある人もない人もともに支えあいながら暮らせるよう障がい者への理解を求めた。

1 法人の運営

(1) 理事会の開催

ア 第1回（通常）理事会 書面表決にて開催

期 日 令和2年5月14日（木）

議 事 第1号議案 令和元年度事業報告（案）の承認について

第2号議案 令和元年度決算（案）の承認について

第3号議案 令和2年度第1回評議員会の開催について

イ 第2回（臨時）理事会

期 日 令和2年7月2日（木）

場 所 千葉県社会福祉センター3F 会議室

議 事 第1号議案 臨時評議員会開催の日程承認について

報告事項 第1号 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について

ウ 第3回（通常）理事会

期 日 令和3年3月5日（金）

場 所 千葉県社会福祉センター 3F 会議室

議 事 第1号議案 令和3年度事業計画(案)について

第2号議案 令和3年度予算(案)について

第3号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

第4号議案 臨時評議員会開催の日程について

報告事項 第1号 理事長および業務執行理事の職務執行状況の報告について

(2) 評議員会の開催

ア 定時評議員会 書面表決にて開催

期 日 令和2年6月4日(木)

議 事 第1号議案 令和元年度事業報告(案)の承認について

第2号議案 令和元年度決算(案)の承認について

第3号議案 監事の退任・選任について

第4号議案 評議員の選任の承認について

報告事項 第1号 理事長及び業務執行理事の職務執行の状況について

イ 臨時評議員会

期 日 令和2年7月21日(火)

場 所 千葉県社会福祉センター 3F会議室

議 事 第1号議案 評議員の選任の承認について

第2号議案 評議員会会長の選任の承認について

報告事項 第1号 理事長および職務執行理事の職務執行の状況について

ウ 臨時評議員会

期 日 令和3年3月24日(水) 書面表決にて開催

議 事 第1号議案 令和2年度補正予算(案)について

第2号議案 令和3年度事業計画(案)について

第3号議案 令和3年度予算(案)について

第4号議案 常勤役員報酬月額承認について

第5号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

報告事項 第1号 理事長および業務執行理事の職務執行状況について

(3) 決算監査会の実施

期 日 令和2年4月24日(金)

場 所 千葉県社会福祉センター 3F会議室

監査人 監事 鈴木一郎 佐々木克朗

協会 横川事務局長 石井顧問税理士

1 自立活動支援事業

① 障がい児・者へのコミュニケーション支援研修会

重症心身障がい児者の意思決定や疎通を図るため、障がい者・保護者・保育士・施設職員等を対象にした研修会を開催した。

期 日 令和2年8月23日(日)
場 所 千葉県社会福祉センター 3F 会議室
講 師 2名
下川和洋氏 (NPO 法人地域ケアさぽーと研究所理事)
「スイッチ一つで広がる遊び・コミュニケーションの世界」
高橋宜盟氏 (一般社団法人 結ライフケアさぽーと研究所理事)
「はじめての ICT」
参加者 20名

② 療育キャンプの実施

日頃、野外活動を楽しむ機会の少ない肢体不自由児者が家族と離れて宿泊し、手作りマスク作りや、室内でのレクリエーション等の活動を通して自主性と社会性を高め、参加者同士の交流を深めた。また、2日目はマザー牧場にてショーやバーベキューを楽しんだ。

期 日 令和2年10月3日(土)～10月4日(日)
宿泊地 「ホテルポートプラザ千葉」
参加者 障がい者 7名 ヘルパー2名 ボランティア 5名
職 員 3名 他1名 計18名

③ 肢体不自由高校奨学金

県内に住む肢体不自由で高校在籍者5校9名に対し1人2万円の交付を行った。

申請者数14名

- ・ あづさ第一高等学校 1名
- ・ 千葉県立松戸特別支援学校 5名
- ・ 千葉県立野田特別支援学校 1名
- ・ 千葉県立松戸南高等学校
サンスクール 1名
- ・ 千葉県立浦安高等学校 1名

2 社会参加活動支援事業

① 親子の旅の実施

日頃、旅行する機会の少ない在宅肢体不自由児者とその保護者を対象に日帰りのバス旅行を1回、現地集合での企画を3回実施した。

期 日 令和2年8月25日(火)
見学等 千葉市中央区にあるザ・ニューヨークベイサイドキッチン
参加者 障がい者2名 付添い1名 職員2名 計5名

期 日 令和2年9月20日(日)
見学等 千葉市中央区にあるザ・ニューヨークベイサイドキッチン
参加者 障がい者1名 ボランティア1名 職員1名 計3名

期 日 令和2年9月27日(日)
見学等 千葉市中央区にあるザ・ニューヨークベイサイドキッチン
参加者 障がい者3名 付添い3名 ボランティア1名
職員 1名 計8名

期 日 令和2年10月25日(日)
見学等 市原市にある五井グランドホテル内ビュッフェと木更津アウトレット
参加者 障がい者10名 付添い8名 ヘルパー1名 ボランティア2名
職員 3名 計24名

3 療育相談事業

肢体不自由児の保護者からの療育についての相談・福祉サービス、車いす・訓練器具貸与、情報提供など協会事務局において行い、年間を通じて電話・メール・来訪による相談が合計224件あった。

又、リモートによる個別の療育相談を開催した。リモートでの相談1件。

4 車椅子・訓練器具の無償貸与事業

① 車椅子貸与

肢体不自由児の生活範囲を広げ、より活発に社会参加の機会を拡大するため申請のあった4名に車いす4台を貸与した。

② 緊急車いす貸与

健常な方で急なケガや病気などで一時的に車いすが必要となった15名に対し車いすを3ヶ月を上限に貸与した。なお、利用者は市役所、市社会福祉協議会からの紹介の方が半数以上だった。

③ 訓練機器の貸与

肢体不自由児が、障害の程度に応じて家庭において訓練ができるよう、医師の判定を受けた新規申請者36名、前年度からの継続貸与者63名、計99名に訓練器具を貸与した。

年齢別貸出人数（新規）

種 類 別 貸 出 台 数

年 齢 別	人数	器 具 種 別	台数	器 具 種 別	台 数
1～3歳	26	オルソチェア	2	P C ウォーカー	32
4～6歳	7	わくわくいす	5	U型歩行器	0
7～12歳	3	フローアシート	2	ポニーウォーカー	3
13歳～	0	クッションチェア	14	S R C ウォーカー	41
合 計	36			合計	99

新規申請者主な通院医療関係機関

千葉リハビリテーション	23名
東京女子医大八千代医療センター	6名
県立子ども病院	1名
松戸市立総合医療センター	1名
順天堂大学医学部附属浦安病院	1名
船橋二和病院	1名
その他	3名

新規申請者主な市町村

千葉市	6件
八千代市	4件
船橋市	4件
習志野市	2件
浦安市	3件
印西市	2件
佐倉市	1件
柏市	2件
市川市	2件
長生郡	2件
その他	8件

5 肢体不自由児に対する理解促進及情報提供事業

① 絵はがき等頒布運動事業

「手足の不自由な子どもを育てる運動」期間を中心に、「愛と友情の絵はがき」（日肢協作成）、チーバくんクリアファイル、チーバくんシール（当協会作成）を活用して募金活動を行った。全県下の小中学校、盲聾特別支援学校の児童生徒・職員、官公庁・団体・企業等に広く働きかけ、肢体不自由児に対する理解と認識を深めた。

又、今年度は群馬県・新潟県、各肢体不自由児協会とコラボし、各県のキャラクターファイルのセット配布も行った。

募金協力数（絵はがき・クリアファイル・シール）

令和3年3月31日現在

対象	愛と友情の はがき	チーバくん クリアファイル	クリアファイルと シールのセット	クリアファイル3枚セット (チーバくん・ぐんま ちゃん・トッキキ)	クリアファイル4枚と シールのセット
小中学校	4,064	18,983	10,165		
一般	850	5,123	1,039	1,193	468
合計	4,914 枚	24,106 枚	11,204 セット	1,193 セット	468 セット

② 手をつなぐ作品展

県内小中高等学校と特別支援学校、盲聾学校の児童生徒が、作品を通じて相互理解を深めることを目的として、作文を募集したところ、作文36点の応募があった。審査会を経て優秀作品を選考し、作品集を作成した。なお表彰式は新型コロナウイルスの感染予防の為に中止とし、入賞者には各学校長から賞状と記念品を贈呈いただいた。又、作品集を県内全学校に配布した。

③ 広報活動

協会の機関紙として、「ともしび」を年3回（5月、9月、2月）発行し、関係機関等に配布することにより協会の事業内容をPRするとともに、肢体不自由児に対する理解を深めることに努めた。（各2,600部配布）

④ ホームページによる情報提供、協会の事業、催しの案内、募集、その報告、訓練器具などの在庫状況などいつでも必要な情報を更新した。

6 バリアフリー情報提供事業

県内の観光施設・公共施設・娯楽施設などのバリアフリー度を調査し、ホームページで紹介する。これにより、県民の方々にも障がい者への理解を深めてもらう。 現在紹介店舗・施設数 122店

7 障害者就労意欲向上支援事業

① ふれあいサロン（就労意欲向上支援事業）

年11回、第3日曜日の午前10時～15時に、特別支援学校高等部卒業生を中心に障がい者の就職や生活相談などに関する悩みを傾聴したり、就労意欲を高めてもらうため、アドバイザーが個別のカウセリングやグループディスカッションを行った。参加者（延べ人数）障がい者43名 アドバイザー36名 その他12名就労にむけての障がい者本人・アドバイザーへの研修会実施。

障がい者が自活していくために必要な知識を得る為、障がい者本人への自活とアドバイザーへのフォローアップをはかった。

また、専門家保健師の立場から障がい者の自立と就労について、又新型コロナウイルス感染予防の講習会を行った。新型コロナウイルスの影響で外出が制限されている為、身体のリフレッシュをはかるため講師指導のもとボッチャの講習も行った。

② 職場体験実習生受け入れ事業

新型コロナウイルスの影響で特別支援学校からの実習生の受け入れは行わなかったが、卒業生で一般就労の経験がある1名が2週間の実習を行った。

体力的にも自信をつけ、就労への意欲が持てた。又、ふれあいサロンの参加者が中心となりバザーへの出店を通し、販売の体験を行った。

実習生 特別支援卒業生 1名 2か月にわたり2週間の実習。

③ パソコン教室の開催

一般就労を目指している障がい者の為にスキルアップの場を設ける為 要望に応じ、その人にあったパソコンの個別指導を行った。なお指導はボランティアの会会員が行った。

受講者延べ4名

8 肢体不自由児に対するボランティアを育成する事業

在宅肢体不自由児の社会参加と自立を支援するため、協会行事への介助活動や派遣活動を実施した。

- ① ボランティアの育成と資質向上を目的に、車いす介助の研修を随時行った。「ふれあいサロン」等の当協会事業で実践をしてもらった。
- ② ボランティアに障がい者のスポーツ「ボッチャ」のルールや競技を知ってもらい障がい者スポーツの推進を図るため講師による「ボッチャ」講習会を行った。
- ③ 本会で実施する各種行事や関係施設行事にボランティア延べ45名が参加し、介助支援等を行った。

令和2年度		ボランティアの会		登録者数	
社会人	男	6名	女	9名	
学生	男	11名	女	18名	
				合計	44名

9 地域や関連団体への催し参加

ガールスカウト千葉市協議会主催の親睦バザーに参加(10月)

普段通所などに通う障がいを持つ4名がバザーへの出店を行い販売の経験を通して、働くことへの意欲を得た。

10 その他

- ① 高額寄付者・団体およびボランティア功労者への感謝状贈呈

高額寄付者・団体に感謝状の贈呈を行い肢体不自由児の理解促進に努めた。

※今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響をうけ行事、イベントの中止や減少が余儀なくされた。協会としては募集方法や企画内容を検討し事業推進に努めた。

※募金活動では群馬県・新潟県 両肢体不自由児協会とコラボクリアファイルセットの配布を行い募金額の増額の成果を得た。